



Mountain Day：授業アイデア ア（簡単版）

山の日をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. なぜ8月11日？日付決めディベート

高校・30分

- 🌀 祝日の日付を決める理由（経済・季節・社会の記憶）を英語で比べ、意見を述べる。
- 1. 6月第1日曜日案・8月12日案・8月11日案の3つを、理由とともに日本語で簡単に紹介する。
- 2. グループごとに1つの案を担当し、I think ____ is the best because ____ の形で理由を3つ英語で書く。
- 3. グループで1分ずつ発表し、他のグループは質問を1つする。
- 4. 実際に8月11日に決まった理由を確認し、「祝日と社会の記憶」について感想を書く。

2. 山の恵みマインドマップ

中学・20分

- 🌀 山から受けている恵みを英単語で集め、Mountains give us ____ の文で発表する。
- 1. 黒板の中央に mountain と書き、ペアで思いつく恵みを英語で書き出す（water, wood, air, food など）。
- 2. 辞書を使って足りない語を調べ、マインドマップを広げる。
- 3. Mountains give us ____ の文を3つ作り、クラスで発表する。

3. 外国人に山の日を30秒で説明しよう

中学・25分

- 🌀 日付・意味・過ごし方の3点を入れて、やさしい英語で日本の祝日を紹介する。
- 1. 本文の英語を音読し、日付・意味・過ごし方にあたる文に線を引く。
- 2. それぞれから1文ずつ選び、自分の言葉で3～4文の紹介文を作る。
- 3. ペアで ALT 役と生徒役になり、30秒で説明する。役を交代する。
- 4. よかった表現をクラスで共有する。

4. 世界の山の日くらべ ミニ調べ学習

大学・45分

- 🌀 国連・韓国・ネパール・スイス・中国の「山の日」を比べ、文化の違いを英語でまとめる。
- 1. 国別くらべの表を配り、担当の国を1つずつ決める。
- 2. その日の由来と過ごし方を英語で3文にまとめる。
- 3. グループで共有し、共通点と違いを表にする。
- 4. 「なぜ日本は山の日を休日にしたのか」を英語で100語の意見文にする。

5. 登山の安全チェックリストを英語で作ろう

英会話教室・20分

- 🌀 命令文と should を使って、山へ行く人へのアドバイスを英語で書く。
- 1. 山の遭難の原因でいちばん多いのが道迷いであることを紹介する。
- 2. Bring a map. / You should check the weather. のような文を5つ作る。
- 3. ペアでチェックリストを交換し、足りない項目を1つ足し合う。



1. なぜ8月11日？日付決めデ イベート

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

祝日の日付を決めるとき理由（季節・経済・社会の記憶）を英語で比べ、I think ____ is the best because ____ の形で根拠を3つ挙げて意見を言える。

準備

- 3つの案のカード（A：6月の第1日曜日／B：8月12日／C：8月11日）各グループ1枚
- 理由メモ用のワークシート（I think ____ is the best because ____ を3行）
- 2016年以降のカレンダー（6月に祝日がないことを見せる）
- このサイトの英語ページ本文の第3段落と音声、発展セットの英文（第2段落）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「山の日の候補日は、最初は夏ではなかった」と切り出し、3つの案を日本語で短く紹介する。A：2012年に制定協議会が出した6月の第1日曜日（山の緑がきれい・6月は祝日がない月）。B：2013年に議員連盟が選んだ8月12日（お盆休みにつながる・子どもは夏休み）。C：8月11日。Cの理由はこの時点では言わない。	3つの案と、それぞれの基本的な理由を聞いてメモする。どれに決まったか知っている人は黙っておく。	“Mountain Day is on August 11. But it was not the first idea.” “Plan A is the first Sunday in June. Plan B is August 12. Plan C is August 11.” “Which date is the best for a mountain holiday? Today, you will argue for one plan.” “If you already know the answer, keep it a secret for now.”
展開1	10	4人グループにA・B・Cの案を割りふる（同じ案を2グループが持ってもよい）。I think ____ is the best because ____ の形で理由を3つ英語で書かせる。季節・休みの取りやすさ・山の安全・ほかの祝日とのバランスなど、観念の例を板書する。Cのグループには「お盆休み」「夏山の季節」など、日付そのものの利点から考えるよう助言する。	担当の案の理由を出し合い、英文3つにまとめる。発表者と質問係を決める。	“Your group has one plan. Write three reasons in English.” “Use this pattern: I think August 12 is the best because many people have the Obon break.” “Think about the season, vacations, and safety.” “Choose one speaker and one question maker.”
展開2	10	各グループが1分で発表する。聞いているグループは質問を1つする（Why do you think ____? / What about ____?）。先生はタイマーで時間を守らせ、よい理由や質問を板書に残す。	1分で3つの理由を発表する。ほかのグループの発表を聞き、英語で質問を1つする。	“Each group has one minute. Ready, go.” “Listeners, ask one question. For example, What about people who work in August?” “Good point. I'll write it on the board.” “Thank you. Next group, please.”
まとめ	6	8月12日は1985年に日航機が群馬県山中に墜落し、520人が亡くなった日であること、山で多くの命が失われた日に山に感謝する祝日を置くのはいかがかという声が上がったこと、2013年11月に1日前の8月11日に決まったことを、事実だけ落着いて伝える。英語ページ第3段落の音声を聞かせたあと、「祝日と社会の記憶」について日本語か英語で2～3文の感想を書かせる。	実際の理由を聞き、英文で確かめる。祝日の日付と人々の記憶の関係について感想を書く。	“Now, here is the real story.” “On August 12, 1985, a plane crashed into a mountain in Gunma. 520 people died.” “So the lawmakers chose the day before, August 11.” “What do you think about this decision? Write two or three sentences.”

板書例

Mountain Day: Which date is the best?

- A the first Sunday in June (2012 協議会案) ... green mountains / no holiday in June
B August 12 (2013 議連案) ... Obon break / summer vacation
C August 11 ... ?

I think ____ is the best because ____.

質問: Why do you think ____? / What about ____?

→ 8/12 = 1985年 日航機墜落 (520人) → 1日前の 8/11 に (2013年11月)
祝日の日付と「社会の記憶」

評価のポイント

- because のあとに、担当の案に合った具体的な理由を3つ書けたか（ワークシートで確認）。
- ほかのグループの発表に対して、内容に沿った質問を英語でできたか。
- 感想文で、日付を決めるときに考えるべきこと（季節・休み・人々の気持ち）に触れているか。

つまずきへの手だて

- 理由が出ないグループには「その日は何の季節?」「学校や会社は休み?」と日本語で問いかけ、出た答えを英語の短い語句（summer vacation / green mountains）にして渡す。
- 英文が長くなりすぎる生徒には、because のあとを語句だけ（because of the Obon break）にしてよいと伝える。
- 事故の話は身内に関係者がいる生徒もいる可能性があるため、詳しい描写はせず事実だけを伝え、感想は日本語でもよいとする。

発展

- 「6月に祝日を作るなら何を祝う?」を考え、基本セット p.7 の作文（If I made a new holiday in June, I would call it ____ Day because _____.）に書く。
- 2020年と2021年に山の日が東京オリンピックのために移動したことを紹介し、「祝日を動かしてよいのはどんなときか」を英語で話し合う。
- 発展セットの英文第2段落を読み、public memory という語の意味をグループで説明し合う。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第3段落）と音声
- 発展セット（英文と debate）
- 基本セット p.7（作文）



2. 山の恵みマインドマップ

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

山から受けている恵みを英単語で集め、Mountains give us _____. の文を3つ作って発表できる。

📁 準備

- 黒板にマインドマップを書くための色チョーク
- B4の紙（ペアに1枚）と英和・和英辞書（タブレットでも可）
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（mountain / tree / rice ball など）を拡大したカード
- このサイトの英語ページ本文の第2段落と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	黒板の中央に mountain と書き、丸で囲む。英語ページ第2段落の音声を聞かせ、Mountains give people clean water, wood, and fresh air. の文から water / wood / air を拾わせ、線でつないでマインドマップの最初の枝にする。	音声を聞き、山がくれるものを3つ聞き取って答える。	“Listen. What do mountains give us?” “Yes, clean water. What else?” “Wood and fresh air. Good listening!” “Let’s make a big map of mountain gifts.”
展開1	8	ペアにB4の紙を配り、中央に mountain と書かせて、思いつく恵みを英語で書き出させる（3分）。英語がわからない語は日本語でいったん書き、そのあと辞書で調べて英語にする（3分）。食べ物（mushrooms, chestnuts）、遊び（hiking, skiing）、景色（views, sunrise）など、枝の分け方のヒントを出す。	ペアで恵みを書き出し、わからない語は辞書で調べてマップを広げる。	“Work in pairs. Write as many gifts as you can.” “Japanese is OK first. Then look it up in your dictionary.” “Think about food, sports, and beautiful views.” “How many words do you have? Ten? Great!”
展開2	5	Mountains give us _____. の型を板書し、マップから選んで3文を書かせる。複数の語をつないでもよい（Mountains give us mushrooms and chestnuts.）。机間指導で s のつけ忘れ（mushroom → mushrooms）や a の使い方を個別に直す。	マップから語を選び、Mountains give us _____. の文を3つ書く。	“Now write three sentences. Mountains give us ____.” “You can use and. Mountains give us water and fish.” “Check your spelling with your partner.”
まとめ	4	指名した数ペアに1文ずつ発表させ、出てきた新しい語を黒板のマップに書き足す。最後に「山の日は、こうした恵みに感謝する日」と法律の趣旨を伝え、全員で Thank you, mountains! と言って終わる。	1文ずつ発表し、黒板のマップが広がるのを見る。山の日の意味を確かめる。	“Please read one sentence to the class.” “Mushrooms! That’s a new one. I’ll add it to the map.” “Mountain Day is a day to thank mountains for these gifts.” “Let’s say it together. Thank you, mountains!”

📌 板書例

wood
|
water — mountain — fresh air
|
food: mushrooms / chestnuts
fun: hiking / skiing
views: sunrise

Mountains give us _____.
Mountains give us _____ and _____.

山の日（8月11日）＝山に親しみ、山の恩恵（gifts）に感謝する日

✅ 評価のポイント

- マップに英単語を5語以上書けたか（ペアの紙で確認）。
- Mountains give us _____. の文で、複数形や and を正しく使えたか。
- 発表のとき、クラスに聞こえる声で文を読めたか。

👉 つまづきへの手だて

- 語が出ないペアには、絵カード（tree / rice ball など）を見せて「これも山から？」と問いかける。
- 辞書引きに時間がかかる生徒には、先生が黒板の端に語のリスト（mushrooms, chestnuts, fish, rivers, skiing, views）を出しておく。
- 文を書くのが苦手な生徒には、Mountains give us の部分を先に書いた紙を渡し、空所だけ埋めさせる。

🌟 発展

- 基本セット p.7 の作文（Mountains give us _____. I want to say thank you for _____.）に清書する。
- Without mountains, we would not have _____. の文に挑戦する。
- 基本セット p.4 のクロスワード（FOREST / WATER / SUMMIT など）で語を確かめる。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第2段落）と音声
- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- 基本セット p.7（作文）



3. 外国人に山の日を30秒で説明しよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

日付・意味・過ごし方の3点を入れた3～4文のやさしい英語で、山の日を30秒で紹介できる。

準備

- このサイトの英語ページ本文（全5段落）のプリントと音声
- 3色の蛍光ペンまたは色えんぴつ（日付・意味・過ごし方で色分け）
- ストップウォッチ（ペアに1つ、またはタブレット）
- アクティビティ集 B3 ロールプレイのカード（ALT 役・生徒役）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	「8月に来日した留学生に『明日はなぜ休み？』と聞かれたら？」と場面を示す。英語ページの会話（Emily と Haruto）の最初の4行を音声で聞かせ、今日のゴール（30秒で説明する）を伝える。	会話を聞き、エミリーが何に驚いているかを答える。今日のゴールを知る。	"A student from Canada asks you, Why is tomorrow a holiday?" "Listen to Emily and Haruto." "Today, you will explain Mountain Day in 30 seconds."
展開1	7	本文を音声のあとについて音読する。そのあと、日付（August 11 / the first Mountain Day was in 2016）を青、意味（thanking them for their gifts）を赤、過ごし方（go hiking / Mount Fuji / go back to their hometowns）を緑で線を引かせる。ペアで答え合わせをする。	本文を音読し、3つの情報に色分けして線を引く。ペアで確かめる。	"Let's read after the audio." "Blue for the date. Red for the meaning. Green for what people do." "Check with your partner. Did you find the same sentences?"
展開2	7	色ごとに1文ずつ選び、自分の言葉に直して3～4文の紹介文を書かせる。型を板書する（Mountain Day is on _____. It is a day to _____. Many people _____.）。4文目に自分のこと（I want to climb Mount Takao.）を入れるとよいと伝える。書けたら小さな声で読み、30秒以内か計らせる。	型を使って3～4文を書く。自分の予定や意見を1文加える。声に出して時間を計る。	"Choose one sentence from each color." "Use easy words. Mountain Day is on August 11." "Add one sentence about you. I want to go hiking with my family." "Read it quietly. Is it under 30 seconds?"
展開3	6	ペアで ALT 役と生徒役に分かれる。ALT 役は Why is tomorrow a holiday? と聞き、生徒役が30秒で説明する。ALT 役は Really? / Why August 11? などと反応する。役を交代し、相手を変えてもう1回行う。	ALT 役と生徒役を交代しながら、30秒で山の日を説明する。聞く側は反応や質問をする。	"A is the ALT. B is the student. A, start with this question: Why is tomorrow a holiday?" "B, you have 30 seconds. Go!" "A, react. Say Really? or ask one question." "Change roles. Then find a new partner."
まとめ	2	よかった表現を2～3人に紹介させ（It's Japan's newest holiday. / It started in 2016. など）、板書に加える。「新しい祝日だと言うと驚かれる」ことを伝えて終わる。	友だちのよかった表現を聞き、自分の紹介文に書き足す。	"Who heard a nice sentence? Tell us." "It's Japan's newest holiday. That's a great sentence." "Add one good sentence to your paper."

板書例

Q: Why is tomorrow a holiday?

【日付】 Mountain Day is on August 11. (青)

【意味】 It is a day to enjoy mountains and thank them. (赤)

【過ごし方】 Many people go hiking. (緑)

【自分】 I want to _____.

よい表現: It's Japan's newest holiday. / It started in 2016.

反応: Really? / Why August 11?

評価のポイント

- 日付・意味・過ごし方の3点がすべて入っているか（紹介文で確認）。
- 30秒以内に、相手の目を見て言えたか（ペア活動の見取り）。
- ALT 役のとき、Really? や質問で反応できたか。

つまづきへの手だて

- 線を引く場所がわからない生徒には、段落番号を伝える（日付は第1段落、意味は第2段落、過ごし方は第4・5段落）。
- 自分の言葉に直せない生徒は、本文の文をそのまま使ってよいとする。
- 30秒をこえる生徒には、いちばん大事な3文だけにしぼらせる。

発展

- Why August 11? と聞かれたときの答え（August 12 was the day of a big plane crash in 1985.）を1文足す。
- 英語ページの会話を Emily と Haruto に分かれてペアで演じる。
- 基本セット p.6 の並べかえ（Mountain Day is on August 11. など）で語順を確かめる。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文と会話の音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 基本セット p.6（並べかえ）



4. 世界の山の日くらべミニ調べ学習

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

国連・韓国・ネパール・スイス・中国の山にまつわる日を比べ、由来と過ごし方の違いを英語でまとめたうえで、日本が山の日を休日にした理由について100語の意見文を書ける。

準備

- 記事の国別くらべの表（国連12月11日・韓国10月18日・中国の重陽節・ネパール5月29日・スイス8月1日）を印刷したもの
- アクティビティ集 B5 国くらべの表（共通点・違いを書く欄）
- 調べものに使う端末（グループに1台）
- 発展セットの英文（Mountain Day の成り立ちと事故の増加）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「山の日があるのは日本だけ？」と問いかけ、予想を聞く。国連が2003年から12月11日を International Mountain Day にしていることを示し、国によって「山の日」の形が違うことを予告する。担当の国（5つ）を4～5人グループに1つずつ割りふる。	日本以外の山の日を予想する。担当の国を確認する。	“Is Japan the only country with a Mountain Day?” “The UN has International Mountain Day on December 11. It started in 2003.” “Each group will research one country or one day.” “Your group has South Korea. Your group has Nepal.”
展開1	12	国別くらべの表をもとに、担当の日の由来と過ごし方を英語3文にまとめさせる（When / Why / How）。表の内容に加えて端末で調べてよいが、出典（政府・国連・百科事典など）を1つメモさせる。たとえば韓国は2002年に山林庁が定めた10月18日、ネパールは1953年5月29日のエベレスト初登頂の日（2008年に政府が発表）など。	担当の日の日付・由来・過ごし方を調べ、英語3文と出典をメモする。	“Write three sentences: when, why, and how people spend the day.” “You may use your devices. Please write down one reliable source.” “For example, Nepal celebrates Everest Day on May 29. Two climbers reached the top on that day in 1953.” “Keep each sentence short and clear.”
展開2	13	グループを組み替え、各国の担当が1人ずつ入る新しいグループを作る（ジグソー）。順に3文を発表し、B5 国くらべの表に共通点と違いを書き込ませる。観点の例（祝日かどうか・自然を守る日か記念日か・季節）を板書しておく。	新しいグループで担当の日を説明し合い、表に共通点と違いを書き込む。	“Make new groups. Each new group needs one person from every country.” “Take turns. Share your three sentences.” “Is it a day off? Is it about nature or history? Fill in the table.” “What do all these days have in common?”
まとめ	15	表を見ながら「なぜ日本は山の日を休日にしたのか」を考えさせ、約100語の意見文を書かせる。発展セットの英文の要点（山岳会・ガイド・自治体の運動から生まれた・2025年の遭難者3,623人は過去最多）を根拠として使ってよいと伝える。最後の3分で2～3人に読ませ、論点の違いを確認する。	国くらべの結果と発展セットの情報を根拠に、100語の意見文を書く。数人の意見を聞く。	“Now write about 100 words. Why did Japan make Mountain Day a day off?” “Use facts from the table and from the advanced passage.” “State your opinion first. Then give two reasons.” “Could two or three people read their paragraphs?”

板書例

Mountain Days around the world

UN Dec 11 International Mountain Day (2003～)
 Korea Oct 18 산의 날 (2002, 山林庁)
 China 重陽節 Double Ninth : climb hills
 Nepal May 29 Everest Day (1953 初登頂)
 Switzerland Aug 1 fires on the mountains
 Japan Aug 11 Mountain Day (2016～, a day off)

観点 : day off? / nature or history? / season

Essay (100 words) : Why did Japan make Mountain Day a day off?

評価のポイント

- 担当の日について、日付・由来・過ごし方を正確な英語3文でまとめ、出典を示せたか。
- 国くらべの表に、共通点と違いを少なくとも2つずつ書けたか。
- 意見文で、主張と根拠（表や発展セットの事実）がつながっているか。

つまづきへの手だて

- 調べものに時間がかかるグループには、記事の国別くらべの英文（The UN started it in 2003. など）をそのまま出発点にしてよいと伝える。
- 意見文が書けない学生には、型（In my opinion, Japan made Mountain Day a day off because _____. First, _____. Second, _____.）を渡す。
- 出典の信頼性に迷う学生には、政府・国連・大学・百科事典を優先するよう助言する。

発展

- 日本の海の日（7月第3月曜日）と山の日を比べ、なぜ山の日が「第○月曜日」ではないのかを考える。
- 発展セットの debate（山の日が安全教育の日にすべきか）で、ミニ・ディベートを行う。
- スイスのかがり火や中国の登高の写真を集め、英語のスライド1枚にまとめる。

使う教材

- 記事の国別くらべの表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）
- 発展セット（英文・debate）



5. 登山の安全チェックリストを英語で作ろう

授業手順書（詳細版）／対象：英会話教室／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

命令文（Bring a map.）と should（You should check the weather.）を使って、山へ行く人へのアドバイスを5つ英語で書き、相手のリストに1つ足せる。

📁 準備

- 登山の持ち物の絵カード（map / compass / boots / backpack / rice ball / raincoat など。基本セット p.3 のマッチングの絵を拡大）
- チェックリスト用の紙（□を5つ書いたもの）
- 警察庁のまとめの数字（2025年の山の遭難者3,623人・過去最多、原因でいちばん多いのは道迷いで約3割）をメモしたもの

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「山で助けを求めた人の原因でいちばん多いのは？」と聞き、けが・病気・道迷いから予想させる。答えは道迷い（約3割）で、2025年の遭難者は3,623人と過去最多だったことを伝える。get lost の意味を確認する。	遭難の原因を予想し、答えと数字を聞く。get lost の意味を知る。	"Many people need help in the mountains. What is the most common reason?" "A, they get hurt. B, they get sick. C, they get lost." "The answer is C. About thirty percent of them got lost." "In 2025, 3,623 people needed help in the mountains. That was a new record."
展開1	8	絵カードを見せながら、命令文（Bring a map.）と should の文（You should check the weather.）の2つの型を板書する。Don't ____ の否定の形（Don't climb alone.）も示す。チェックリストの紙に、5つのアドバイスを書かせる。持ち物だけでなく、行動（Tell your family your plan. / Start early.）も入れるよう促す。	2つの型を使って、山へ行く人へのアドバイスを5つ書く。	"Look at this card. A map. So, bring a map." "We can also say, You should check the weather." "And this one: Don't climb alone." "Write five tips. Think about things to bring and things to do."
展開2	6	ペアでチェックリストを交換し、声に出して読み合う。相手のリストに足りない項目を1つ考え、6番目として書き足してあげる（You should bring a raincoat.）。書き足した理由を英語で一言添える（because it often rains in the mountains.）。	相手のリストを読み、足りない項目を1つ書き足して理由を伝える。	"Swap your lists. Read your partner's tips out loud." "What is missing? Add one more tip for your partner." "Tell them why. Because it can get cold at the top." "Give the list back and say, Here you are."
まとめ	2	クラス全体でいちばん大事だと思う1つを聞き、板書の上を書く。「山の日、安全に帰ってくることも考える日」と伝えて終わる。	いちばん大事だと思うアドバイスを1つ答える。	"Which tip is the most important? Tell me one." "Good choice. Come back home safely. That's the real goal."

📄 板書例

Mountain Safety Checklist

2025年 遭難者 3,623人（過去最多）／いちばん多い原因：get lost（約3割）

命令文：Bring a map. Bring water.

否定：Don't climb alone.

should：You should check the weather.

You should tell your family your plan.

プラス1：You should bring a raincoat because ____.

✅ 評価のポイント

- 命令文・Don't ____・should の文を正しい語順で書けたか。
- 相手のリストに、内容が重ならないアドバイスを理由つきで足せたか。
- 持ち物だけでなく、行動のアドバイスも入れられたか。

👉 つまづきへの手だて

- 単語が出ない生徒には、絵カードを指して語を言わせ、Bring a ____ の空所に入れさせる。
- should の位置がわからない生徒には、You should のあとにはいつも動詞の原形が来ることをカードで示す。
- 理由をつけるのが難しい生徒は、because のかわりに It's important. と言うだけでよいとする。

🔥 発展

- チェックリストを「富士山で日の出（ご来光）を見る人」用に作り直す（Bring a warm jacket. You should start at night.）。
- If you get lost, ____ の形で、道に迷ったときにすることを書く。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Ken reach the summit!）で、頂上までの道を英語で説明する。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッチングの絵）
- 基本セット p.6（迷路）
- このサイトの英語ページ本文（第4段落）と音声